

高校入試結果2018

本年度の高校入試は、全員が第一志望合格とはなりませんでしたが、全員が最後まで努力を重ねてくれました。その努力の結果をお伝えします。(受験生24名、うち公立高校受験22名※国立含む)

公立高校

川越女子	1名
松山(理数)	1名
和光国際(普通)	1名
所沢	1名
川越南	1名
坂戸(普通)	1名
市立川越(普通)	1名
松山女子	1名
坂戸西	2名

川越総合	1名
川越西	1名
所沢中央	1名
川越工業(電気)	1名
滑川総合	1名

私立高校

星野、関東国際、農大三、山村学園、山村国際、城西川越、埼玉平成、埼玉栄、錦城、狭山ヶ丘、栄北、東野

2018年度は入試模擬テストで厳しい判定が続く中でも、志望校への思いを強く持って難しい入試に臨んだ生徒が多くいました。学校の三者面談などで合格は厳しいと言われていた生徒が複数大逆転で合格をつかんだ年でもありました。

しかし、学校選択問題の英語が非常に難しくなったことで、川越南から和光国際あたりの学校までは、逆転が難しい入試になったように思います。数学、英語(さらに今年は国語も)で点がとれなくなった分、差がつくのが理社のみという傾向が強かったのではないかと推測しています。そうなると、内申点での逆転を理社の2教科に頼ることになるため、内申(通知表)が良い生徒にだけ有利な入試になったのではないかと思います。

昨年も予想しましたが、この難しい入試が今後簡単になるという期待はしない方がいいでしょう。もともと上位校受験での差をつけるために導入された学校選択問題です。多少のレベルの変動はあったとしても、「難しい」という路線は変わらないでしょう。

数学・英語で差がつかないのであれば理社で差をつける、どの学習塾も同じように考えます。学校選択採用の中堅校(川越南、所沢、和光国際あたり)なら、そのような考え方もしくはは通用するかもしれません。しかし、それ以上の学校になると来年からは難しい数学・英語でも差をつけるための対策をしっかりしてくる生徒が多数出てくるでしょう。我々もその競争に負けるわけにはいきません。今年の中3生指導はレベル設定を改めて見直し、授業を進めていきます。

発行
2018.3.22
編集
山口 学習塾
山口 将志
樋口 淳一

今月のトピックス

・高校入試結果2018

・春期講習(小学生春休み日程)

・塾冊子発刊

・学校選択・学力検査の比較(英語)

春期講習期間

☆3月27日(日)~4月7日(土)は中学生の春期講習期間になります。

☆春期講習期間は、小学生の授業は特別日程となります。

『小学生の春休みの日程』

3月27日(火) 英語14:00~15:00

3月28日(水) 計算14:00~15:00

国語15:10~16:10

4月3日(火) 英語14:00~15:00

4月4日(水) 計算14:00~15:00

国語15:10~16:10

塾冊子発刊

第1弾「ひぐつちゃんの数学奥義」を発刊しました。塾冊子はB教室電話横に置いておきます。不定期で再発刊していきますので欲しい人は注意して見てください。皆さんが勉強に対して少しでも前向きに取り組んでくれるように今後も別シリーズを発刊していきたいと思っております。

学校選択・学力検査の比較(英語)

今年の学校選択問題は大変難しくなりました。山口学習塾の受験生の中で、開示得点の報告があった生徒の中で、もっとも英語の点数が取れている生徒が55点です。北辰テストで偏差値70近くをとったことがある生徒ですので、かなり力のある生徒であることは間違いありません。難問対策として都立上位校の問題も解いてもらっていたので、私の中では難しくなったとしても70点台はとれると思っていました。それだけ難しい問題だったということです。

今までの入試に近い学力検査問題(実際には今までの入試よりも点数を取りやすくなっていると思います。)と比べてみました。とくに学力検査の大問4と、学校選択の大問2が共通の長文内容(問題は異なる)となっていますので分かりやすい比較ができました。

①英単語の注釈の数。(日本語が提示されている英単語の数)

【学力検査】

rode, environment, sidewalk, careful, bike's headlight, safety, training program, follow, rule, pedestrian, safely, as a general rule, not~at all, the side of the sidewalk closest to the road, traffic, accident, increase, level, hand signal, pass~, badge, sign, lane, thanks to~, cyclist, society 以上26語

【学校選択】

sidewalk, pedestrian, as a general rule, the side of the sidewalk closest to the road, hand signal, badge, lane 以上7語

以前にブログでも触れましたが、学校選択の場合は学校で習っていない英単語にも注釈がついていないケースが見られます。相当の単語力、もしくは文の前後から意味を類推する判断力が問われます。

②並び替え問題

【学力検査】

[is / ride / easier / it / to / for / them]. ⇒答え it is easier for them to ride.

It~for~toの3語がある時点で、it~for-to...の構文(中3内容)だと気づいた生徒も多いと思います。決まった形の英文なのでそれほど難しいとは言えません。

【学校選択】

[thing / remember / have / the / that / we / important / to / most] is that we all ...⇒答え the most important thing that we have to remember is that we all ...

ついに並び替えで関係代名詞(目的格)が出てきました。並び替えで関係代名詞が出てくると、英語が苦手な生徒はまず歯が立たないでしょう。前年の学校選択でも間接疑問文の9語の並び替えが出題されています。今後はさらに難しい関係代名詞の目的格の省略を含む文なども出題される可能性があります。

③英文補充問題(会話文を成り立たせる英文を考える問題)

【学力検査】

(4語以上) there?

I bought a cycling helmet. ⇒答え: What did you buy there?

答えの文が「私は自転車のヘルメットを買いました。」なので、「あなたはそこで何を買いましたか。」という内容を類推することは容易でしょう。また、それを英文に訳すのも平均的な力を持っていれば難しくないとします。

【学校選択】

(5語以上8語以内) from your house to the department store by bike?

About 30 minutes. ⇒答え: How long did it take from...

「家からデパートまでどのくらい時間がかかったか?」という日本語は頭に浮かぶかもしれませんが、「時間がかかる」=it take(s)という表現は中堅校受験の生徒たちには簡単ではないと思います。さらにこの問題には罠があり、答えの文がAbout 30 minutes.と動詞を省略することによって時制がかくれているところです。(学力検査の場合はI bought...と動詞の過去形をはっきり示しています。)ですからHow long does it take...と現在の時制で答えてしまった生徒も多数いたのではないのでしょうか?(英文の前後関係を読むとここは過去時制でなければいけない。)

共通の長文問題について比べましたが、これ以外にもリスニングでの違い(学力検査では日本語のところが学校選択では英語)や、最後の英作文の課題の違い(学力検査では「高校生になったら何に挑戦したいか」というテーマ、学校選択は「AI(人工知能)の活用について」)など問題レベルの差がかなりありました。山口学習塾の受験生たちの結果を見ると、学力検査ではかなりいい点数を取っている生徒が多い一方、学校選択では苦戦した生徒が多かったのが事実です。学校選択で高得点をとるには、今までの我々の指導のレベルを見直さなければいけないのは間違いありません。「1学期は学校のテスト優先」「夏休みは北辰テスト優先」のような今まで常識のようにやってきた指導の流れを考え直す時が来たような気がします。「学校のテストができるのは当たり前。」「北辰テストができるのも当たり前。」そういう力が必要になるように感じています。昨年の受験生たちは努力の量に関して追い込んでもらいましたが、それに加え今年の受験生(とくにAクラス)たちは勉強のレベルに関して1段上のものを要求していくことは間違いないでしょう。授業のスピードは過去最高に速いでしょう。教える内容は過去最高に多いでしょう。受験に勝つために何とか食らいついてきてください!!